

安全安心だより

千歳市安全で住みよいまちづくり推進協議会

事務局：千歳市市民環境部市民生活課
防犯・交通安全係 ☎ 24-0263
FAX 27-3743

ストップ特殊詐欺

令和5年中の全道における特殊詐欺被害の認知件数は、161件と前年に比べ147件減少し、被害総額は約5億7,089万円で約6億6,882万円減少しました。

被害内容では、1年を通して、インターネット閲覧中に「ウイルスに感染したため修理が必要です」などとテクニカルサポートを装い、修理名目として電子マネー等を請求する架空料金請求詐欺が多くなっており、また、SNSグループからの投資詐欺被害も急増しています。

何かおかしいと感じたら、家族や友人、警察相談ダイヤルに相談しましょう。

『詐欺電話がきたら#9110』（警察相談電話、24時間受付）

被害に遭わないために

1 「渡さない、教えない」で詐欺ブロック!

警察官や市役所職員をかたって「カードを確認する」、「カードを交換する」、「カードを封筒に入れて保管する」という電話は詐欺を疑い、すぐに電話を切って警察へ110番通報してください。

2 お金を「送る、手渡す、振り込む」前に相談しましょう!

お金の話は一人で決めず、家族や警察（#9110）に相談してください。

3 詐欺の手口に関心を持ちましょう!

「詐欺のニュースや記事」を見て知識をつけることで詐欺に気づきやすくなります。

4 留守番電話を活用しましょう!

在宅時でも留守番電話に設定しておき、相手を確認してから電話に出しましょう。犯人と会話せずに済みます。

5 電話防犯機器が効果的です!

通話内容の自動録音や警告メッセージ機能がついた防犯機器は、被害防止に効果的です。

千歳市内の犯罪発生状況

令和5年中の市内における刑法犯認知件数は、464件と前年に比べ60件減少しました。発生件数では、自転車盗が最も多く、このうち半数以上は無施錠で被害に遭っています。盗難を防ぐには、2か所にワイヤーロックなどを掛ける「ツーロック」が有効です。

暦年	刑法犯 (件)	総 数	内 訳						
			自転車盗	車上 ねらい	部品 ねらい	侵入 窃盗	強制 わいせつ	特殊 詐欺	その他
令和5年		464	112	12	3	10	2	1	324
令和4年		524	123	52	7	12	3	4	323
増 減		-60	-11	-40	-4	-2	-1	-3	1

道内の暴力団情勢 ～問題解決は早期相談～

令和5年末現在の北海道内における暴力団構成員等の総数は約1,100人で、このうち暴力団構成員数は約420人、暴力団準構成員等数は約680人となっており、前年に比べ110人減少しました。

暴力団対策法で禁止されている主な行為

- スキャンダルや仕事のミス等人の弱みをネタに「口止め料」の金品を要求する行為
- 企業等に対し、不当に寄附金、賛助金等の金品の贈与を要求する行為
- 飲食店等に対して「あいさつ料」など名目のいかに問わず金品を要求する行為
- 大声を出したり、強引な方法で債権を取り立てる行為
- 借金や代金を支払わない行為
- 交通事故等の示談に介入して、金品等の供与を要求する行為
- 事故や商品の欠陥などを口実に金品を要求する行為



※暴力団等がもっとも恐れていることは、警察に通報されることです。一人で悩まずに早期相談、通報を！

警察では、刑事罰や暴力団対策法の中止命令等の対象となる場合には、これらを適用した徹底した取締りを行っていますので、暴力団員からの不当、不法な要求等でお悩みの方は、千歳警察署などに相談してください。

千歳市内の人身交通事故発生状況(高速道路を除く)

令和5年中の市内における人身事故件数（高速道路を除く）は173件と、前年に比べ19件増加しました。

特に、車同士の追突事故や出会い頭の事故の割合が高くなっており、車が人に衝突する重大事故も発生しています。

車を運転する際は、信号機の有無に関わらず、横断歩道や交差点で横断しようとしている歩行者がいないかをよく確認し、スピードを抑えた運転をしましょう。

同時に、後部座席を含めた全席でシートベルト（6歳未満はチャイルドシート）の着用をしましょう。

歩行者は、信号に従う、斜め横断等の危険な横断をしないなどルールを守るほか、「車から自分のことが見えるだろう」「車が止まってくれるだろう」と過信せず、確実に安全を確認し、横断する意思表示をして横断しましょう。

また、自転車は、乗車用ヘルメットを着用し、交通ルールを守って運転しましょう。

交通事故 暦年	人身事故 件数(件)	亡くなられた方 (人)	けがをされた方 (人)
令和5年	173	4	211
令和4年	154	2	172
増減	19	2	39

